

平成 29 年度 第 2 回 社会教育委員会会議録

開催日時 平成 29 年 7 月 28 日 (水) 午後 1 時 30 分～

開催場所 恵那市役所 会議棟 大会議室

出席委員	委員長	近藤 慎平	
	副委員長	林 達夫	
	委員	磯部 彰	
	委員	山田 恵市	
	委員	近藤 修次	
	委員	森川 伸江	
	委員	松村 通男	
	委員	田口 容子	
	委員	各務 周和子	
	委員	加藤 稚奈子	(敬称略)

説明のため出席した社会教育委員会事務局等

教育長	大畑 雅幸
生涯学習まちづくりセンター長	梅村 浩明
生涯学習課長	伊藤 英晃
スポーツ課長補佐	伊藤 豊
中央図書館長	可知 昌洋
まちづくりセンター社会教育指導員	遠藤 滋
生涯学習課係長	三浦 和彦
生涯学習課総括主査	平林 範子

議 題

1. 平成 29 年度恵那市社会教育委員会第 1 回会議録の承認
2. 第 4 期家庭教育支援計画について
3. 各種大会について

開 会 (午後 1 時 30 分)

教育長あいさつ

来年度より道徳がひとつの教科になります。先日教科書の採択をしました。世の中が変化するなかで学習指導要領もそれに対応して変わっているが、すくなくとも義務教育の間は、世の中がどのように変化をしても不変的なことは、しっか

りとおさえて教育をすることが重要だと思います。

議題1 会議録の承認

平成29年度第1回恵那市社会教育委員会会議録が承認されました。

議題2 第4期家庭教育支援計画について

社会教育係

社会教育委員新任の方もおみえになりますので、計画策定の背景、諸計画との関係、市民のニーズと課題、計画の基本的な考え方、具体的な施策の展開、計画の推進と体制について確認

計画の推進にあたっては、より多くの市民の方に参加していただき、学びをとおした人材育成に重点をおいて施策を展開することと庁内関係部署の連携と関係機関との連携とあります。

第1回の社会教育委員会で森川先生からお話がありました「今年は全園で家庭教育を推進していこうという雰囲気を感じた。」というご意見に対し、庁内連携部分の現状を報告します。

現在恵那市のこども園では家庭教育学級のネーミングを「スマイル学級」として取り組んでみえます。

7月19日(水)城ヶ丘子ども園より講師の派遣依頼があり、生涯学習課の社会教育指導委員を講師として30分ほど学びの時間を設定していただきました。

お手元の派遣事業報告書をごらんください。

「5歳児で大切なこと・親子のかかわりについて」というテーマで実施しましたがお母さんや、お父さんの感想を添付しましたので、ご覧ください。この感想については、子ども園と幼児教育課、生涯学習課で共有しています。

その中の感想を少し紹介いたします。

・とても楽しい時間でした。“育勉”とてもすてきな言葉ですね。子育てをしながら勉強していく。そしてあせらない！

・この時期にすごく良い話が聞けて勉強になりました。

・お話を聞いてはっとすることがありました。これからの子育てにつなげたい。などの感想をいただきました。

また、園長先生からは「スマイル学級」に取り組んでよかった。親の誰一人として話しをきく間、携帯をさわる人がみえなかったのには驚きました。また他の年齢についても実施したいと感想をいただきました。

続いて(3)関係機関との連携とありますので、現在の状況について資料の

平成29年度第1回恵那っ宝ネウボラ会議をご覧ください。

ネウボラの意味ですが、フィンランドで制度化されている妊娠・出産・子育てに関

する支援施設のこと。妊娠、出産から就学前までの育児を切れ目なく継続的に支援するのが特長。ネウボラとは、フィンランド語で「アドバイスする場所」という意味です。

資料の3ページをご覧ください。

この会議の目的を紹介

基本構成メンバー紹介

平成28年度3月まではこのような会議はありませんでしたので、関係機関の連携というところで紹介をさせていただきました。

次に「平成29年度の主要な子育て支援施策について」という資料をごらんください。新規事業と拡充事業とそれぞれ紹介がありますが、特に1ページの私立恵那病院に産婦人科医が開設されたこと、15ページからの病児保育などがあります。

このように乳幼児や幼児については支援についても充実をしてきたところです。

この資料の最後から2枚目「はなのき」と「むつみ」の相談員の先生からは、この教室を卒業したあと、社会にどう適応していくのかということを中心に考えて指導をしていると言われました。また、家庭教育が重要だと言われてみえました。

再度恵那っ宝ネウボラ会議の資料6ページをご覧ください。生涯学習課では9番10番11番を事業として取り組んでいます。

乳幼児期・学童期については子育て支援事業と同じように充実してきています。

11番の青少年健全は青少年育成市民会議の事務局として取り組んでいます、(ニート・ひきこもり等)という部分が取り組みとして弱い部分です。

広報誌「ゆ『Sねっと』」をご覧ください。

青少年育成市民会議の仲間づくり部会から広報誌を発行していますが、この4ページ目の下段をごらんください。生涯学習課は※不登校やひきこもり、いじめや非行など、青少年に関する相談窓口にもなっているため、広報誌をとおして啓発をしています。また、地域から選出されている推進員に地域の子どもの情報をいただけるようお願いをしています。

委員長 計画の概略と現在の状況について事務局より説明がありましたが、ご質問はありますか。

委員 生まれてから社会人になるまで子どもたちを育てるときに、途切れなくつないでいく支援をすることが重要であると思います。教育委員会として、どのように関わっていくか地道な取り組みではあるが、城ヶ丘子ども園と生涯学習課の取り組みに対し参加した親の声を市の職員も情報として共有し、取り組みに対し社会教育委員も参加していけるとよい。

社会教育係長

最終確認終了後印刷をし、関係機関等へ配布を予定していますので、よろしく

お願いいたします。

議題3 各種大会について

社会教育係長

各種大会について説明

その他 視察について

社会教育係長

次回の社会教育委員会ですが、今年度現場を参観していただきたいと考えていますので、第3回の社会教育委員会については、詳細が決まり次第改めて案内を出させていただきます。ご出席のほどよろしく申し上げます。

本日はどうもありがとうございました。

午後3時30分閉会

平成29年7月28日（金）

社会教育委員 近藤 慎平

社会教育委員 林 達夫

